

2024/9/9

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(9月2日～9月6日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,337.3	1,344.3	1,326.5	1,327.7	▲8.3
JPY/KRW	9.1339	9.3333	9.1028	9.3260	+0.116
KOSPI	2,683.80	2,695.59	2,529.31	2,544.28	▲130.03

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンは1,337.3ウォンでオープン。前週末米PCEデフレータによりインフレ減速傾向が確認された一方で、その他経済指標は良好な内容を示したことで、米経済のソフトランディング期待が高まり、ドル高推移。翌3日かけて1,344.3ウォンの高値をつけた。3日の米ISM製造業指数は軟調だったことで米金利には下落圧力となるも、翌4日は韓国株式市場からの外国人投資家による売り越しが拡大し、高値圏で揉み合い推移が続いた。その後、5日以降は週末に控える米雇用統計への警戒からドル売りが強まり下落。ADP雇用統計も弱い内容となり、一段と米雇用情勢への警戒が強まったことで、6日のドル/ウォンは一時1,326.5ウォンまで下げ、結局前週比▲8.3ウォンの1,327.7ウォンでクローズした。

(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値重い推移を予想。今週は米CPIが注目となるも、先般のジャクソンホール会合以降、FRBの関心事が雇用の悪化阻止にシフトしたこともあり、米CPI後に相場の方向感が大きく変化する可能性は低いだろう。先週末の雇用統計後、9月FOMCでは25bpの利下げがメインシナリオとなっているが、米金利低下とドル売りの流れからドル/ウォンは徐々に下落推移する展開を想定。一方、リスクオフの動きから外国人による株式の売り越しや連休前の輸入実需が下値をサポートしよう。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1320 ~ 1350	9.20 ~ 9.60	140.0 ~ 144.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 9日(月) 中 8月 PPI
中 8月 CPI
日 2Q GDP 確報値
日 7月 国際収支
- 10日(火) 中 8月 貿易収支
- 11日(水) 韓 8月 失業率
米 8月 CPI
- 12日(木) 米 9月 失業保険新規申請者数
米 8月 PPI
欧 ECB 政策金利発表
- 13日(金) 米 9月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
日 7月 鉱工業指数 確報値